



2023年8月14日

各位

会社名 恵和株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 長村 恵 氏
(コード番号：4251 東証プライム)
問合せ先 取締役執行役員 管理本部 本部長 代理
兼 財務部長 吉岡 佑樹
TEL. 03-5643-3783

第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2023年5月12日に公表しました2023年12月期第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）の連結業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績値との差異 (2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,576	百万円 666	百万円 655	百万円 396	円 銭 20.58
実績値 (B)	7,394	592	928	625	32.48
増減額 (B-A)	△181	△73	272	229	—
増減率 (%)	△2.4	△11.1	41.6	57.9	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	10,213	2,469	3,200	2,600	135.07

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(第2四半期連結業績予想数値との差異の理由)

売上高につきましては、ノートPC・タブレット向けに高性能な直下型ミニLED液晶ディスプレイ向け複合拡散板「オパスキ®」が複数の新規案件で量産出荷を開始し、ゴーグル型VRデバイスの新機種向けに特殊な機能を有する新製品の光学フィルムが採用されるなど販売拡大をはかり、当第2四半期の売上高は当第1四半期比57.8%増となるなど回復傾向は明確になりましたが、世界的な在庫調整が続いている影響によりスマートフォン向け従来型の液晶ディスプレイ向けの光拡散フィルム「オパルス®」も含めて光学フィルム事業の売上高は未達となったことから、前回予想を下回りました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い営業利益は前回予想を下回ったものの、主として、当社が保有する外貨建債権の期末為替レートによる評価替えにより為替差益が発生したことから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回予想を上回りました。なお、前回予想の為替レートの前提は、1US\$=130円としております。

※ 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上